

# 世界史B 近現代 12 19世紀イギリス・北歐諸国

イギリス「ヴィクトリア朝」

ヴィクトリア女王❖a(在1837~1901)の長期(英国最長)在位⇒繁栄

1851年ロンドン 第一回万国( )1会⇒イギリス工業力を誇示

1860年代 ーイギリスの工業カ⇒ドイツなどの台頭に直面して国際競争カ低下

↳( )2業・( )3業などの分野で世界経済をリード

ジェントリ(地主)⇒穀物法廃止後、資産で有価証券購入⇒金融業界興隆

支配的階層の座を維持⇒「( )4資本主義」

❖a--「君臨すれど( )5せず」が一応定着し二大政党制確立。女王はテイズレーリの帝国主義政策を支援。

二大政党制による議会政治

・保守党 ディズレーリ❖b(1804~81)

1867年 蔵相時代第2回選挙法改正⇒( )6労働者の参政権実現

1875年 ( )7運河❖c株式買収

1877年 ( )8帝国の創設⇒ヴィクトリア女王がインド皇帝を兼任

❖b--大英国主義=海外領土( )9論1874年~80年に内閣。帝国主義・保護関税政策。貴族、地主の支持。

❖c--1859年( )10人レセップス、運河着工。(万国スエズ運河株式会社)

1869年完成--地中海から( )11を結ぶ163キロメートル

1875年 イギリスはエジプト政府財政難に乗じ、持ち株175000株を買収。

1882年 運河保護の名目で( )12軍、運河を武力占領。

1914年 占領下のエジプトをイギリス保護国に。

・従来の自由貿易帝国主義を推進⇒「第二帝国」強化

・白人の多い植民地(カナダ(1867), オーストラリア(1901)・ニュージーランド(1907)など)⇒( )13領に

↳19世紀末~20世紀初頭、後発のドイツ、アメリカに工業生産で抜かれる

↳アフリカ・アジアで領土拡張→最大の植民地を領有⇒最大の帝国主義国

・自由党 グラッドストーン❖d(1809~98)

1870年 普通( )14法⇒小学校義務化 幼年労働者を学校へ

1871年 労働( )15法⇒労働組合の合法化

1884年 第3回選挙法改正⇒( )16・鉱業労働者の参政権実現 有権者438万人

1886年 アイルランド( )17法案提出⇒保守党などの反対で否決、自由党分裂

ジョゼフ・チェンバレン(1836~1914)⇒保守党に合流、南ア戦争(1899~1902)推進

❖d--小英国主義=海外領土( )18論 4次の内閣。アヘン戦争❖eを批判。自由主義・自由貿易政策。

❖e--イギリスが清朝(中国)との片貿易を解決するためにアヘンをインド農民に栽培させ、中国へ密輸出したが、清朝が1839年密輸アヘンを没収焼却してイギリスが出兵。1842年中国側の( )19自主権を認めない不平等条約である南京条約を締結。2年後アメリカ・フランスも同じ内容の条約を結ぶ→半植民地化

労働党の結成

1884年( )20協会❖f結成。B・ショー❖g(1856~1950)、ウェップ夫妻❖hらによる。

のちにH・Gウェルズ❖i(1866~1946)、B・ラッセル❖j(1872~1970)らも参加。

1900年 労働代表委員会結成(社会主義団体と労働組合)⇒1906年「( )21党」

❖f--社会主義団体。穏やかな変革を指向する社会民主主義。英労働党の基盤。古代ローマの将軍ファビウス・マクシムスに由来。第二ポエニ戦争で持久戦法によりカルタゴのハンニバルを苦しめた。

❖g--アイルランド出身。劇作家。❖h--シドニー(1859~1947)とビアトリス(1858~1943)

❖i--小説家、SFの父。「タイム・マシン」「宇宙戦争」など。戦争を根絶するために第一次大戦後、( )22樹立に努力。軍備放棄を訴え、日本国憲法9条にも影響。

❖j--数学者、哲学者。平和主義者。第一次大戦時に反戦論を展開し、投獄される。第二次大戦後は( )23の廃絶=「ラッセル・アインシュタイン宣言1955」を唱え1961年英国防省前の座り込みで二度目の投獄。

「アイルランド問題」

古代 ( )24人が定住。非ゲルマン系。後にカトリックを信仰。

5世紀 ( )25族、イギリス本土へ侵入。キリスト教伝来。

12世紀~ イギリス勢アイルランドへ侵入⇒イギリス化。土地没収。

17世紀~ イギリスのプロテスタント⇒北部=( )26に植民

1649年 クロムウェルによる征服 (1689年~ウィリアム3世)

→民族(イギリス系対アイルランド系)と宗教(プロテスタント対カトリック)の対立

イギリス人(新教徒)=( )27 アイルランド人(カトリック)=( )28

1800年 アイルランド( )29法--翌年イギリス王国に併合=連合王国=される。

1840年代⇒農民の主食[ ]30の疫病により大飢饉。80~100万人の餓死者。100万人が移民。その最中にもアイルランドからの穀物輸出は続く。

46年 ( )31法廃止⇒東・南欧から安価な穀物⇒アイルランド農業を打撃

70年 アイルランド自治協会設立(カトリック系多数派)

74年 60名の議員をイギリス議会へ⇒自由党グラッドストーンが支持。

86年 自治法案提出(グラッドストーン内閣)⇒自由党分裂⇒アイルランド統合派(チェンバレン)

1905年 ( )32=「われら自身」=党結成。共和主義・民族主義政党。

14年 アイルランド( )33法成立--第一次大戦によって実施されず。

22年「アイルランド自由国」(自治領)成立⇒( )34はイギリスに

⇒現在まで、イギリス領として残されたこの地ではアイルランド統一を求める運動が続く。

北歐諸国

スウェーデン

1814年 ウィーン会議でフィンランドを( )35に譲渡。

キール条約で( )36を獲得→北欧の一体化・汎( )37主義

1866. 二院制議会設置。

ノルウェー

1814年 「1814年( )38」のもとで、独自の議会と政府。国民主義を育成。

1905年 国民投票により分離独立。( )39の王子を国王ホーコン7世に。

三国 ↳20世紀初頭( )40参政権を実現。国民の権利保障、議会政治の発展。

↳第一次大戦前には( )41外交を展開。

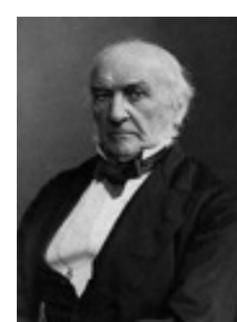
フィンランド 1917年( )42革命に際し、独立を達成。



ヴィクトリア女王



ディズレーリ



グラッドストーン



ウェルズ



ラッセル

- ・金融 ・都市 ・海運 ・拡張 ・縮小 ・連合 ・自由 ・保守 ・組合 ・博覧 ・統治 ・紅海 ・関税 ・教育
- ・穀物 ・農業 ・地主 ・憲法 ・中立 ・自治(3) ・労働 ・女性 ・植民地 ・小作人 ・核兵器 ・インド
- ・ロシア(2) ・ケルト ・スエズ ・国際連盟 ・フランス ・イギリス ・ノルウェー ・ノルマン ・デンマーク
- ・アルスター ・フェビアン ・シンフェイン ・ジェントルマン ・北アイルランド ・アングロサクソン